
あーあ、世界なんて鬱だ！滅びちゃえマシン！！

ゴンギツネ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あーあ、世界なんて鬱だ！滅びちゃえマシーン！！

【Nコード】

N5959Y

【作者名】

ゴンギツネ

【あらすじ】

プラクシヨン博士の悪夢は、まだ続く？プラクシヨン博士シリーズ第2段！

・・・プラクシオン博士が処刑されてから、1年がたった。もう、あの事件のことは日に日に薄れてきた。そう、自分だけ痛いなんて損だと思わんか？マシーン（プラクシオン博士命名）事件のことは。

しかし、プラクシオン博士の置き土産は、あんなものではなかった。

ワシの家族が居なくなったら・・・という遺言があり、それを起動させた。結果は、失敗だった。なにがって？起動させたことがだよ。

そう。あーあ、世界なんて鬱だ！滅びちゃえマシーン（プラクシオン博士命名）が起動したことにより、世界はともかくとして、この国の半分が滅びたんだ。

僕は、旅行に行っていたから大丈夫だったけど。え？僕が誰かって？それは——教えないよ。でも、日記の後ろには名前が書いてあるはずだ。今これを読んでる君！名前見たさに、後ろを見るなよ？まあ、見たいなら見ればいいさ。

・・・話がそれたね。あの事件は、マーレンの事件が可愛く思ってしまうほど、大きかった。死亡者は、優に1000万を越したんだ。あの事件（あーあ、世界なんて鬱だ！滅びちゃえマシーン事件）は、それほど強力だった。

あのあと、国が大変だったのは、書くまでもない。政府は潰れた。そう。おかげで、どうするかも政府に頼りっぱなしの国民には、どうしたら良いか分からない。

だから、オカカルに合併したんだけど——。新たな問題が、浮上した。食料不足だ。あの国は、それなりに大きい。その国の半分以上って言ったって、そりゃあもう、大した人数だ。核兵器（改良されていたから、威力は絶大だった）を出されたんだ。

もう、あの土地は使えない。そうしたら、国がプラクシオン博士を処刑したからだって、プラクシオン博士が滅ぼした国プールの元国民を差別したんだ。後悔先に立たず、だ。

とにかく、その事件の全貌はつかめただろうか。まあ、ここには大きな違いが1つある。マーレンは、処刑されなかったし、プラクシオン博士も処刑されていなかった。そう、あれはクローンだったのだ。何で僕が知っているかって？それは――後に分かるだろう。プラクシオン博士が死んでいないということは、また、面白い発明が誕生するかもしれないんだ！

そう。プラクシオン博士は、新たな発明をした。太陽光で動く、この僕だ。なんで僕が意志を持っているかって？それは、下の通りだ。プラクシオン博士の息子のマーレンは、あれから2年後に死んでしまった。だから、死んだ時に即座にロボットに脳を移植させたんだ。血液は、もちろん僕のだよ？心臓は、人工の心臓で、消化器官なんか、存在しないんだ。だから、いつまでも生きられる。そう、思っただ。けれど、もう、時間だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5959y/>

あーあ、世界なんて鬱だ！滅びちゃえマシン！！

2011年11月18日05時49分発行